

## 平成20年度 第1回中国地方整備局事業評価監視委員会 審議一覧表

【再評価】

NO.	事業種別	事業名	事業概要	経緯	該当要件	対応方針 (原案)	備考
	河川	斐伊川水系 治水事業	斐伊川は、島根県東部に位置し、中国山地の船通山（標高1,142.5m）に源を發し、境水道を通じて日本海に注ぐ流域面積2,070km <sup>2</sup> 、幹川流路延長153kmの一級河川である。神戸川は、中国山地の女亀山（標高830.3m）に源を發し、大社湾に注ぐ流域面積470km <sup>2</sup> 、幹川流路延長82kmの一級河川である。斐伊川と神戸川は、昭和47年7月、平成18年7月の豪雨により甚大な被害を受けた。本事業は、その対策として河道改修、放水路及びダム建設により浸水被害を軽減することを目的に実施している。	S51事業着手 H15再評価	再評価実施後 5年経過	事業継続	
1	河川	斐伊川 放水路事業	斐伊川放水路事業は、斐伊川水系の治水計画のうち、同水系中流部における治水対策として計画された延長13.1kmの河川改修（放水路）事業である。	S56事業着手 H15再評価	再評価実施後 5年経過	事業継続	
2	ダム	尾原ダム 建設事業	尾原ダムは、斐伊川水系の治水計画のうち、上流部における治水対策として計画され、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水（最大38,000m <sup>3</sup> /日）の供給を目的として建設中の多目的ダムである。 【重力式コンクリートダム、ダム高：90.0m、総貯水容量：60,800千m <sup>3</sup> 】	S62事業着手 H15再評価	再評価実施後 5年経過	事業継続	
3	ダム	志津見ダム 建設事業	志津見ダムは、斐伊川水系の治水計画のうち、上流部における治水対策として計画され、洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水（最大10,000m <sup>3</sup> /日）の供給、発電（1,700kw）を行うことを目的として建設中の多目的ダムである。 【重力式コンクリートダム、ダム高：85.5m、総貯水容量：50,600千m <sup>3</sup> 】	S58事業着手 H15再評価	再評価実施後 5年経過	事業継続	
4	ダム	殿ダム 建設事業	千代川は、鳥取県東部の日本海側に位置し、その源を鳥取県八頭郡智頭町の沖ノ山（標高1,319m）に發し、日本海に注ぐ、一級河川であり、その支川袋川は鳥取市国府町の中央をほぼ東西に蛇行し、鳥取市街地で千代川に合流する河川である。 千代川・袋川は、戦後最大となる昭和54年10月洪水により甚大な被害を受け、近年でも浸水被害が発生しており、幾度となく濁水被害に見舞われている。 殿ダムは、洪水調節、河川環境、工業用水、水道用水及び発電の5つを目的に実施している。	S60事業着手 H15再評価	再評価実施後 5年経過	事業継続	